



韓国OP労組・国会議員が7・26来日行動

韓国OP労組の代表団が、7月26日、東京で来日行動を行う。この来日行動は、韓国OP労組の代表団が、7月26日、東京で来日行動を行う。この来日行動は、韓国OP労組の代表団が、7月26日、東京で来日行動を行う。

都政争点は不鮮明

7月7日投票の東京都知事選挙の結果は、多くの野党市議員候補者が落選した。その結果を総合的に見ると、自民・公明野党の双方が都民から不信を受けていることが懸念される。

蓮舫候補惨敗の7・7都知事選

128万3千という結果になり、多くの野党市議員候補者が落選した。蓮舫候補は、石丸の後塵を拝して止まった事態を課す受け止める必要がある。

7月「19の日」行動、国会前750人

7月19日、国会前では1014回「19の日」行動が実施された。これは、自民・公明野党の双方が都民から不信を受けていることが懸念される。

許すな！米兵性暴力隠蔽

7月19日、国会前では1014回「19の日」行動が実施された。これは、自民・公明野党の双方が都民から不信を受けていることが懸念される。

草野は審理を降りよ

7月17日、福島原発訴訟で最高裁判所が最高裁判決を出した。最高裁は、草野裁判官の審理を降りよと主張している。

日本共産党は解決へ動け

韓国OP労組の代表団が、7月26日、東京で来日行動を行う。この来日行動は、韓国OP労組の代表団が、7月26日、東京で来日行動を行う。

東電刑事7・17最高裁判決

7月17日、福島原発訴訟で最高裁判所が最高裁判決を出した。最高裁は、草野裁判官の審理を降りよと主張している。

韓国の国会議員は韓

議政では、9月同時期に立憲民主党政権移行、自民党離脱後、それぞれ誰が選ばれるかが話題になっている。蓮舫候補は、石丸の後塵を拝して止まった事態を課す受け止める必要がある。

蓮舫候補惨敗の7・7都知事選

7月「19の日」行動、国会前750人

許すな！米兵性暴力隠蔽

韓国の国会議員は韓

議政では、9月同時期に立憲民主党政権移行、自民党離脱後、それぞれ誰が選ばれるかが話題になっている。蓮舫候補は、石丸の後塵を拝して止まった事態を課す受け止める必要がある。

蓮舫候補惨敗の7・7都知事選

7月「19の日」行動、国会前750人

許すな！米兵性暴力隠蔽

「プロレタリア」編集長・若杉 浩平

労働者共産党(以下、労働共)は去年5月に、第9回党大会を開催しました。

「この9回大会では、「戦争と排外主義に反対し、新しい社会を目指す」と題する宣言を採択...

この9回大会での宣言は、「戦争と排外主義に反対し、新しい社会を目指す」と題する宣言を採択...

紙面開放の編集者として、若干の解題の意見を述べた。結果論として、(1)を先にと、今回の共同討論呼かけの重要性...

この「年誌」発行と関連して、担い手はそれほど多くはないが、09年3月に共産共産者協議会(以下、「協議会」)が結成された。

「協議会」は、以下の目的を掲げた。(1)全人民的政治闘争(労働者階級、反帝、反ソバリスムの国際連帯闘争)への取り組み...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

「協議会」の旗印は、「年誌」での討論を共有経験として、08年以降、同志世界共産者同盟と日本共産共産者との非別編切り、09年統一共産党(以下、「統一共産党」)への向かう情勢...

この時代交代の課題は、時代状況に合わせた左翼連帯の刷新という課題と、一体ではあり、左翼連帯・無党派を超えてきたこと、共同交代による新しい世代の交代と、左翼再生の新ステージを拓くべきことである。

紙上討論は、松平提案に逐一対応してなされる必要はないが、松平提案(要案)の現代性(左翼批判)「革命の大目標」を綱領とする主要目標を掲げ、左翼共産共産者協議会(以下、「協議会」)の旗印として、統一共産党への取り組み...

松平提案の特徴は、紙上討論は、松平提案に逐一対応してなされる必要はないが、松平提案(要案)の現代性(左翼批判)「革命の大目標」を綱領とする主要目標を掲げ...

松平提案の特徴は、紙上討論は、松平提案に逐一対応してなされる必要はないが、松平提案(要案)の現代性(左翼批判)「革命の大目標」を綱領とする主要目標を掲げ...

松平提案の特徴は、紙上討論は、松平提案に逐一対応してなされる必要はないが、松平提案(要案)の現代性(左翼批判)「革命の大目標」を綱領とする主要目標を掲げ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

この「年誌」は、直接の役割を限定し、寄稿の原稿量に応じて費用を負担する方針で、長らく発行が維持されてきたが、寄稿者は、トリスを超えて、ある程度広がりが見られ...

既訂正

木シリーノ(2023年12月11日)中で、先住民労働者雇用契約書および先住民労働者団体の採択案が、「1993年」とあるが、「1989年」との誤り。



障がい者運動に労働者階級のイニシアチブを！

千葉進(障がい者党员)

最高裁判法廷が7月31日、田代保憲法とその下で行われた強制不妊手術について、これを憲法13条、14条違反とし、被害者原告への損害賠償を命じた判決を出した。人権侵害の重大性に照らし、20年時効の請求権消滅を認めなかった。

遅すぎた当然の判決ではあるが、今後、少なくとも2万5千人とされる被害者に、賠償・謝罪が実際に実行されるのかどうか、憲法と立法化が問われることとなった。

また、この重大人権侵害を容認してきた国民の責任、抹殺政策と真実に関わってきたとは、もう一言ない日本の労働運動・民主主義運動の責任と課題、これらもまた問われている。

「さるさる」といえるだろう。この判決を機に、日本の障がい者運動の全般的な現状と課題、および労働運動などの連帯の課題について考えてみたい。

この判決を機に、日本の障がい者運動の全般的な現状と課題、および労働運動などの連帯の課題について考えてみたい。

日本における障がい者運動も、ノーマライゼーション理念の完全実施に向けて、国・地方自治体と対峙、交渉を繰り返してきていることとなった。

今世紀に入ってから、(1)06年に同連帯の障がい者団体の権利に関する条約(障がい者権利条約)とその批准のための国内法整備の必要性、(2)障がい者制度

障がい者問題に関する関係を確認していくことがまず必要となる。そして、相互に共有できる対政府・対社会の要求を策定し、共同して交渉を行なうことへ進めねばならない。こうした日常闘争によって、労働組合などと障がい者団体とが共に視野をひろげ、相互の連帯を強化することが可能となる。

また、一つは、こうした運動とともに、労働者階級の地域的ネットワークにおける障がい者問題についての基本政策の策定など、理論的実践を労働運動と障がい者運動の活動が共同して推進することが必要となる。

これらの努力を積み重ねていく中で、障がい者運動に労働者階級のイニシアチブは確立され、日本の労働運動は新しい社会的組織者としての能力を豊かにし、また障がい者運動は孤立・分断を脱して大きく前進していくのである。

障がい者問題に関する関係を確認していくことがまず必要となる。そして、相互に共有できる対政府・対社会の要求を策定し、共同して交渉を行なうことへ進めねばならない。こうした日常闘争によって、労働組合などと障がい者団体とが共に視野をひろげ、相互の連帯を強化することが可能となる。

また、一つは、こうした運動とともに、労働者階級の地域的ネットワークにおける障がい者問題についての基本政策の策定など、理論的実践を労働運動と障がい者運動の活動が共同して推進することが必要となる。

これらの努力を積み重ねていく中で、障がい者運動に労働者階級のイニシアチブは確立され、日本の労働運動は新しい社会的組織者としての能力を豊かにし、また障がい者運動は孤立・分断を脱して大きく前進していくのである。

障がい者問題に関する関係を確認していくことがまず必要となる。そして、相互に共有できる対政府・対社会の要求を策定し、共同して交渉を行なうことへ進めねばならない。こうした日常闘争によって、労働組合などと障がい者団体とが共に視野をひろげ、相互の連帯を強化することが可能となる。

また、一つは、こうした運動とともに、労働者階級の地域的ネットワークにおける障がい者問題についての基本政策の策定など、理論的実践を労働運動と障がい者運動の活動が共同して推進することが必要となる。

これらの努力を積み重ねていく中で、障がい者運動に労働者階級のイニシアチブは確立され、日本の労働運動は新しい社会的組織者としての能力を豊かにし、また障がい者運動は孤立・分断を脱して大きく前進していくのである。

障がい者問題に関する関係を確認していくことがまず必要となる。そして、相互に共有できる対政府・対社会の要求を策定し、共同して交渉を行なうことへ進めねばならない。こうした日常闘争によって、労働組合などと障がい者団体とが共に視野をひろげ、相互の連帯を強化することが可能となる。

また、一つは、こうした運動とともに、労働者階級の地域的ネットワークにおける障がい者問題についての基本政策の策定など、理論的実践を労働運動と障がい者運動の活動が共同して推進することが必要となる。

これらの努力を積み重ねていく中で、障がい者運動に労働者階級のイニシアチブは確立され、日本の労働運動は新しい社会的組織者としての能力を豊かにし、また障がい者運動は孤立・分断を脱して大きく前進していくのである。

障がい者問題に関する関係を確認していくことがまず必要となる。そして、相互に共有できる対政府・対社会の要求を策定し、共同して交渉を行なうことへ進めねばならない。こうした日常闘争によって、労働組合などと障がい者団体とが共に視野をひろげ、相互の連帯を強化することが可能となる。

また、一つは、こうした運動とともに、労働者階級の地域的ネットワークにおける障がい者問題についての基本政策の策定など、理論的実践を労働運動と障がい者運動の活動が共同して推進することが必要となる。

これらの努力を積み重ねていく中で、障がい者運動に労働者階級のイニシアチブは確立され、日本の労働運動は新しい社会的組織者としての能力を豊かにし、また障がい者運動は孤立・分断を脱して大きく前進していくのである。

障がい者問題に関する関係を確認していくことがまず必要となる。そして、相互に共有できる対政府・対社会の要求を策定し、共同して交渉を行なうことへ進めねばならない。こうした日常闘争によって、労働組合などと障がい者団体とが共に視野をひろげ、相互の連帯を強化することが可能となる。

また、一つは、こうした運動とともに、労働者階級の地域的ネットワークにおける障がい者問題についての基本政策の策定など、理論的実践を労働運動と障がい者運動の活動が共同して推進することが必要となる。

これらの努力を積み重ねていく中で、障がい者運動に労働者階級のイニシアチブは確立され、日本の労働運動は新しい社会的組織者としての能力を豊かにし、また障がい者運動は孤立・分断を脱して大きく前進していくのである。

障がい者問題に関する関係を確認していくことがまず必要となる。そして、相互に共有できる対政府・対社会の要求を策定し、共同して交渉を行なうことへ進めねばならない。こうした日常闘争によって、労働組合などと障がい者団体とが共に視野をひろげ、相互の連帯を強化することが可能となる。

また、一つは、こうした運動とともに、労働者階級の地域的ネットワークにおける障がい者問題についての基本政策の策定など、理論的実践を労働運動と障がい者運動の活動が共同して推進することが必要となる。

これらの努力を積み重ねていく中で、障がい者運動に労働者階級のイニシアチブは確立され、日本の労働運動は新しい社会的組織者としての能力を豊かにし、また障がい者運動は孤立・分断を脱して大きく前進していくのである。

障がい者問題に関する関係を確認していくことがまず必要となる。そして、相互に共有できる対政府・対社会の要求を策定し、共同して交渉を行なうことへ進めねばならない。こうした日常闘争によって、労働組合などと障がい者団体とが共に視野をひろげ、相互の連帯を強化することが可能となる。

また、一つは、こうした運動とともに、労働者階級の地域的ネットワークにおける障がい者問題についての基本政策の策定など、理論的実践を労働運動と障がい者運動の活動が共同して推進することが必要となる。

これらの努力を積み重ねていく中で、障がい者運動に労働者階級のイニシアチブは確立され、日本の労働運動は新しい社会的組織者としての能力を豊かにし、また障がい者運動は孤立・分断を脱して大きく前進していくのである。

障がい者問題に関する関係を確認していくことがまず必要となる。そして、相互に共有できる対政府・対社会の要求を策定し、共同して交渉を行なうことへ進めねばならない。こうした日常闘争によって、労働組合などと障がい者団体とが共に視野をひろげ、相互の連帯を強化することが可能となる。

また、一つは、こうした運動とともに、労働者階級の地域的ネットワークにおける障がい者問題についての基本政策の策定など、理論的実践を労働運動と障がい者運動の活動が共同して推進することが必要となる。

これらの努力を積み重ねていく中で、障がい者運動に労働者階級のイニシアチブは確立され、日本の労働運動は新しい社会的組織者としての能力を豊かにし、また障がい者運動は孤立・分断を脱して大きく前進していくのである。

障がい者問題に関する関係を確認していくことがまず必要となる。そして、相互に共有できる対政府・対社会の要求を策定し、共同して交渉を行なうことへ進めねばならない。こうした日常闘争によって、労働組合などと障がい者団体とが共に視野をひろげ、相互の連帯を強化することが可能となる。

また、一つは、こうした運動とともに、労働者階級の地域的ネットワークにおける障がい者問題についての基本政策の策定など、理論的実践を労働運動と障がい者運動の活動が共同して推進することが必要となる。

これらの努力を積み重ねていく中で、障がい者運動に労働者階級のイニシアチブは確立され、日本の労働運動は新しい社会的組織者としての能力を豊かにし、また障がい者運動は孤立・分断を脱して大きく前進していくのである。

一、近年の経過

戦後日本の障がい者運動は、「行政責任の追及」すなわち措置の充実を求めるといって、長年進められて来た。しかし20世紀後半の障がい者政策

二、現状の確認

これまでの間を振り返ると、次のことが確認できる。

基本的状況としては、障がい者運動構成員のこのかたの奮闘により、一定の成果(例えば、介護保険や建築物改修など)を勝ち取っているが、国家の無責任が原因で、障がい者運動がいぜん悪戦苦闘を繰り返している。

また、同が、優生思想に基づく障がい者差別に対する国家責任を認め、

三、現在の課題

障がい者問題に関する関係を確認していくことがまず必要となる。そして、相互に共有できる対政府・対社会の要求を策定し、共同して交渉を行なうことへ進めねばならない。こうした日常闘争によって、労働組合などと障がい者団体とが共に視野をひろげ、相互の連帯を強化することが可能となる。

また、一つは、こうした運動とともに、労働者階級の地域的ネットワークにおける障がい者問題についての基本政策の策定など、理論的実践を労働運動と障がい者運動の活動が共同して推進することが必要となる。

これらの努力を積み重ねていく中で、障がい者運動に労働者階級のイニシアチブは確立され、日本の労働運動は新しい社会的組織者としての能力を豊かにし、また障がい者運動は孤立・分断を脱して大きく前進していくのである。

障がい者問題に関する関係を確認していくことがまず必要となる。そして、相互に共有できる対政府・対社会の要求を策定し、共同して交渉を行なうことへ進めねばならない。こうした日常闘争によって、労働組合などと障がい者団体とが共に視野をひろげ、相互の連帯を強化することが可能となる。

また、一つは、こうした運動とともに、労働者階級の地域的ネットワークにおける障がい者問題についての基本政策の策定など、理論的実践を労働運動と障がい者運動の活動が共同して推進することが必要となる。

これらの努力を積み重ねていく中で、障がい者運動に労働者階級のイニシアチブは確立され、日本の労働運動は新しい社会的組織者としての能力を豊かにし、また障がい者運動は孤立・分断を脱して大きく前進していくのである。